

2 授業科目の概要

<保健医療学部 鍼灸学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学融合科目	知の技法入門	1通	2			3 4	1				科目担当の見直しにより、教員を追加。(22) [担当 小泉政啓(教授) 高野一夫(教授) 泉 秀幸(准教授) 科目(3教員とも)知の技法入門、人とのつながりの技法3教員とも、平成21年9月教員審査済 判定可。(22)]	
	人とのつながりの技法	1通	2			3 4	1					
共通基礎科目	自然の科学	生き物の科学(生物学)	1前		2							
		物質の反応(化学)	1前		2							
		物質の科学(物理学)	1後		2							
		分子遺伝学	3前		2							
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前		2							
		哲学(生命倫理学)	2前		2							
		心理学概論	1後		2							
		社会保障の基礎	1後		2							
		人間形成論	2前		2							
		医療史	1前		2			1				
		ポランティア論	1前		1							
	健康の創造(体育理論)	健康スポーツ(体育実技)	1前	1								
		英語Ⅰ	1前	1								
言語とコミュニケーション	英語Ⅱ	1後		1								
	英語コミュニケーション(英会話)	1後		1								
	中国語Ⅰ	1前		1								
	中国語Ⅱ	1後		1								
	韓国語Ⅰ	1前		1								
情報処理と基礎	韓国語Ⅱ	1後		1								
	情報リテラシーⅠ	1前	1									
専門基礎科目	情報リテラシーⅡ	1後	1									
	研究の基礎	2後		1								
	医学概論	1前	1				1				科目体系から配当学期を変更。(21)	
	関係法規	4前	1									
	生命医療倫理学	2後	1				1					
	東洋医学の歴史と思想	1後		1			1					
	社会鍼灸学	2後										
	統合医療論(代替医療)	2前	1				1					
	臨床心理学	3後		1								
	医療人のための英語(医学英語)	2後		1								
カウンセリング入門	2後		1									
中薬学概論	1前		1									
中薬学概論	3後		1			1						
中医方剤学(処方学)	3後		1			1						
中医方剤学(処方学)	4前		1									
中医栄養学(薬膳)	4後		1									
鍼灸経営論	4後		1									

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 基 礎 科 目	現 代 医 学 の 基 礎	人体構造学Ⅰ（総論・組織）	1前	2			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)
		人体構造学Ⅱ	1後	2			1					
		人体構造学Ⅲ	2前	2								
		人体の構造学実習	2後	1			1					
		人体機能学Ⅰ（植物機能）	1後	2			1					
		人体機能学Ⅱ（動物機能・運動生理含む）	2前	2								
		人体の機能学実習（生理学実習）	2後	2			2					
		病理学	2通	2								
		病理学実習	2後	1								
		公衆衛生学	2前	1								
		病原微生物学	2前	1								
		免疫学	2後	1								
		生化学	2後		1		1					
		臨床検査学	3前	1								
		臨床薬理学	3前		1							
	現 代 医 学 の 臨 床	診察診断学	2前	1								集中 科目体系から配当学期を 変更。(21)
		内科学Ⅰ	2前	1			1					
		内科学Ⅱ	2後	1			1					
		内科学Ⅲ	3前	1			1					
		メンタルヘルスケア学	2前	1								
整形外科学Ⅰ（スポーツ医学を含む）		2前	1									
整形外科学Ⅱ		2後	1									
画像診断学		3後	1									
外科学		3後		1								
臨床医学各論Ⅰ		3前	1									
臨床医学各論Ⅱ		3前	1			1						
リハビリテーション医学総論		3前	1									
リハビリテーション医学各論		3後	1									
救急法		3集		1								
看護の原形論		3前		1								
物理療法学	2後		1				1					
栄養学												
保健栄養学(スポーツ栄養学を含む)	3前		1							柔道整復学科と合同で実施する ため、柔道整復学科の科目名に 変更。(21)		
診療所実習	3通	1			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	東洋医学概論	1通	2				1				
	経絡経穴学Ⅰ	1通	2						1		
	経絡経穴学Ⅱ	2前	1						1		
			1								
	取穴学実習Ⅰ	1後	2						2	1	科目体系から単位を変更。 (21)
			2								
	取穴学実習Ⅱ	2通	4						2	1	科目体系から単位を変更。 (21)
	刺鍼・施灸手技総論	1前	1			1					
	鍼灸安全学	3後	1				1				
	基礎刺鍼手技実習	1後	1						1	1	
	応用刺鍼手技実習	2前	1						1	1	
	特殊鍼療法実習	2後	1						1	1	
	触察解剖と刺鍼手技	3前		1							
	基礎施灸手技実習	1前	1						1		
	臨床施灸手技実習	1後	1						1		
	応用施灸手技実習	2前	1					1			
	鍼灸施術と運動法	2後		1							1
	鍼灸治効理論	2通	2			1					
	鍼灸治効理論演習	3前	1			1	1				
	鍼灸治効理論基礎実習	3後	1			1	1				
	最新鍼灸治効理論演習	4前		1		1	1				
	中医診断学	2前	1				1				
	中医診断学実習	2後	1				1				
	中医診断学演習	3前	1				1				
	鍼灸古典診断学	2前	1								
	東洋医学古典講読	4前		1			1				
	鍼灸医学の基礎										
	内科臨床鍼灸学Ⅰ	3後	1							1	
	内科臨床鍼灸学Ⅱ	3後	1							1	
	神経内科臨床鍼灸学	3後	1							1	
	整形外科臨床鍼灸学Ⅰ	3前	2			1				1	
	整形外科臨床鍼灸学Ⅱ	3前	2				1			1	
	理学的検査法実習Ⅰ	2後	1			1				1	
	理学的検査法実習Ⅱ	2後	1				1			1	
	臨床効果の評価法	3後	1				1			1	
	眼科・耳鼻科・歯科臨床鍼灸学	4前	1			1					
	泌尿器・皮膚科臨床鍼灸学	4前	1								
	鍼灸医学の臨床										
	レディース臨床鍼灸学	3後	1			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)
	疼痛管理臨床鍼灸学	4後	1						1	1	
	スポーツ鍼灸学Ⅰ	3後	1						1		
	スポーツ鍼灸学Ⅱ	4前	1						1		
	老年臨床鍼灸学	4後	1			1				1	
	日本伝統鍼灸治療学	4後	1							1	
	中医鍼灸治療学	4前	1							1	
	医療面接	3後	2			1	2	1	1	3	
	附属鍼灸センター実習Ⅰ	4前	1			2	3	1	3	3	
	附属鍼灸センター実習Ⅱ	4後	1			2	3	1	3	3	
	カンファレンス（症例検討）	4後	1			2	2	1			
症例報告の書き方・発表の仕方	4前	1			2	2	1				
鍼灸医学総合演習Ⅰ	3通	2			1						
鍼灸医学総合演習Ⅱ	4通	2			1						
学外関連施設実習（見学実習）	4集	1			2	2	1	2	3	集中	
卒業研究	4通	4			7	4	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通科目	スポーツ社会学	2前			1					
	スポーツ経営学	2前			1					
	競技者育成システム論	2後			1					
	発育発達論	3前			1					
	スポーツ心理学総論	2後			1					
	コーチング論	2後			1					
	トレーニング科学総論	2後			1					
	スポーツ医学総論	2前			1					
アスレティックトレーナー・スポーツプログラマー・健康運動実践指導者科目	アスレティックトレーナーの役割	2前			1		1			
	トレーニング科学	4前			1					
	スポーツ・バイオメカニクス	3後			1					
	運動生理学	3前			1					
	スポーツ心理学	4前			1					
		3後								
	運動器の解剖と機能	3前			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)
	スポーツ外傷障害の基礎知識	3後			1					
		3前								
	健康管理とスポーツ医学	3後			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)
	身体の検査・測定と評価（体力測定を含む）	2後			1					
	予防とコンディショニングⅠ	3前			1		1			
		3前								
予防とコンディショニングⅡ（テーピング・ストレッチングを含む）	3後			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)	
予防とコンディショニングⅢ	4前			1						
	3後									
アスレティックリハビリテーションⅠ	3前			1					科目体系から配当学期を変更。 (21)	
アスレティックリハビリテーションⅡ	3後			1		1				
アスレティックリハビリテーションⅢ	4前			1						
スポーツ栄養学	4前			1						
健康運動実践指導者科目	エアロビック運動の実際Ⅰ	2前			1					
	エアロビック運動の実際Ⅱ	3前			1					
	トレーニングの理論と実際	2後			1					
	健康づくりと運動プログラム	2前			1		1			
アスレティックトレーナー 現場実習科目	現場実習Ⅰ（見学実習）	1後			1					
	現場実習Ⅱ（測定と評価、プログラミング）	2前			1		1			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2後			1		1			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション）	3前			1		1			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3集			2		1			集中

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	授業科目数の訂正 (23)
81	40	0	121	82 [1]	39 [Δ1]	0 [0]	121 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあたり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{121} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 柔道整復学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学融合科目	知の技法入門	1通	2				1	1	1		科目担当の見直しにより、教員を追加。(22) 担当 高橋康輝(准教授) 科目 人とのつながりの技法 担当 小山浩司(講師) 科目 人とのつながりの技法 担当 櫻井敬晋(講師) 科目 知の技法入門 3教員とも、平成21年9月教員審査済 判定 可。(22)
	人とのつながりの技法	1通	2				1	2	4		
共通基礎科目	自然の科学	生き物の科学(生物学)	1前	2							
		物質の反応(化学)	1前	2		1					
		物質の科学(物理学)	1後	2							
		分子遺伝学	3前	2							
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前	2							
		哲学(生命倫理学)	2前	2							
		心理学概論	1後	2							
		社会保障の基礎	1後	2							
		人間形成論	2前	2							
		医療史	1前	2							
健康とスポーツ	ボランティア論	1前	1								
	健康の創造(体育理論)	1前	1			1					
言語とコミュニケーション	英語 I	1前	1								
	英語 II	1後	1								
	英語コミュニケーション(英会話)	1後	1								
	中国語 I	1前	1								
	中国語 II	1後	1								
	韓国語 I	1前	1								
情報処理解と基礎	情報リテラシー I	1前	1								
	情報リテラシー II	1後	1								
	研究の基礎	2後	1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎柔道整復学	運動器系の解剖	1通	4			1					認可時の留意事項により、 3科目に専任教授を追加。(23) 担当 橋本 昇(教授) 平成22年9月 教員審査済 判定 可。(23)
		骨の損傷概論	2通	4			1		1			
		関節の損傷概論	1後	2						1		
		軟部組織損傷概論	2前	2			1	1				
		後療法学	1後	2					1			
	臨床柔道整復学	上肢の骨折理論	2通	2						1		
		下肢・体幹の骨折理論	2通	2				1				
		上肢の脱臼理論	2通	2						1		
		下肢・体幹(顎関節を含む)の脱臼理論	2通	2					1			
		軟部組織損傷各論	2通	2			2					
		画像診断学	3後	1			1					
		運動器系の解剖総合演習	4後	1			1					
		骨折理論総合演習	4後	1			1					
		脱臼理論総合演習	4後	1			1					
	軟部組織損傷総合演習	4後	1			1						
	(臨床実習を含む)柔道整復実技	包帯実技	1通	2					1			実習業務により、助手を追加。(23) 担当 久保 慶東(助手)。(23)
		上肢の骨折実技 I	3通	2								
		上肢の骨折実技 II	3通	2						1		
		下肢の骨折実技	3通	2								
		体幹の骨折実技	4前	1								
		上肢の脱臼実技	3通	2								
		下肢(顎関節を含む)の脱臼実技	4通	2								
		軟部組織損傷の実技	4通	2					1			
臨床実習 I		2通	1			1		2	1	1		
臨床実習 II		3通	1					2	1	1		
臨床実習 III	4通	1					2	1	1			
	卒業研究	4通	4			7 6	3 4	3	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	スポーツ社会学	2前			1							
	スポーツ経営学	2前			1							
	競技者育成システム論	2後			1							
	発育発達論	3前			1							
	スポーツ心理学総論	2後			1							
	コーチング論	2後			1							
	トレーニング科学総論	2後			1		1					
	スポーツ医学総論	2前			1	1						
アスレティックトレーナー・スポーツプログラマー・健康運動実践指導者科目	専門科目	アスレティックトレーナーの役割	2前			1						
		トレーニング科学	4前			1						
		スポーツ・バイオメカニクス	3後			1						
		運動生理学	3前			1		1				
		スポーツ心理学	4前			1						
			3後									
		運動器の解剖と機能	3前			1						科目体系から配当学期を変更。 (21)
		スポーツ外傷障害の基礎知識	3後			1	1					
			3前									
		健康管理とスポーツ医学	3後			1						科目体系から配当学期を変更。 (21)
		身体検査・測定と評価（体力測定を含む）	2後			1		1		1		
		予防とコンディショニングⅠ	3前			1						
			3前									
予防とコンディショニングⅡ（テーピング・ストレッチングを含む）	3後			1						科目体系から配当学期を変更。 (21)		
予防とコンディショニングⅢ	4前			1			1					
	3後											
アスレックリハビリテーションⅠ	3前			1	1					科目体系から配当学期を変更。 (21)		
アスレックリハビリテーションⅡ	3後			1								
アスレックリハビリテーションⅢ	4前			1			1	1				
スポーツ栄養学	4前			1								
健康運動実践指導者科目	指導者科目	エアロビック運動の実際Ⅰ	2前			1						
		エアロビック運動の実際Ⅱ	3前			1			1	1		
		トレーニングの理論と実際	2後			1						
		健康づくりと運動プログラム	2前			1						
アスレックリハビリテーション	現場実習科目	現場実習Ⅰ（見学実習）	1後			1						
		現場実習Ⅱ（測定と評価、プログラミング）	2前			1				1		
		現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2後			1				1		
		現場実習Ⅳ（アスレックリハビリテーション）	3前			1				1		
		現場実習Ⅴ（総合実習）	3集			2				1		集中

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
65	22	0	87	[]	[]	[]	[]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあたり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{87} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学融合科目	知の技法入門	1通	2			1 3	6 5			1	留意事項を踏まえ、科目担当の負担軽減のため、教員の変更。 (22) 新たに担当 担当 山下 雅子(准教授) 科目 知の技法入門 担当 相田 京子(助教) 科目 人とのつながりの技法 担当 中村 充浩(助教) 科目 知の技法入門 3教員とも、平成22年1月教員審査済 判定 可。(22) 別紙①, ②, ③, ④ (23) 平成24年3月 玉橋 貴子(助教) 職務の都合により就任辞退。 (24)
	人とのつながりの技法	1通	2			1	2 4	1 5	4	4	
共通基礎科目	自然の科学	生き物の科学(生物学)	1前	2							
		物質の反応(化学)	1前	2							
		物質の科学(物理学)	1後	2							
		分子遺伝学	3前	2							
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前	2							
		哲学(生命倫理学)	2前	2							
		心理学概論	1後	2			1				
		社会保障の基礎	1後	2			1				別紙① (23) 平成22年3月、菅井直也(兼任講師)就任辞退のため、教員の変更。(22) 担当 山下雅子(准教授) 科目 人間形成論 平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)
		人間形成論	2前	2			1				
		医療史	1前	2							
ボランティア論	1前	1									
健康の創造(体育理論)	1前	1									
健康スポーツ(体育実技)	1前	1									
言語とコミュニケーション	英語Ⅰ	1前	1		1						
	英語Ⅱ	1後	1		1						
	英語コミュニケーション(英会話)	1後	1		1						
	中国語Ⅰ	1前	1								
	中国語Ⅱ	1後	1								
	韓国語Ⅰ	1前	1								
韓国語Ⅱ	1後	1									
情報処理と研究の基礎	情報リテラシーⅠ	1前	1		1			1		留意事項を踏まえ、科目担当の負担軽減のため、教員の変更。(22)	
	情報リテラシーⅡ	1後	1		1			1			
	研究の基礎	2後	1		1						

科目区分		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体の構造と機能	人体の構造Ⅰ	1前	2								
		人体の構造Ⅱ	1前	1								
		人体の機能Ⅰ	1後	2								
		人体の機能Ⅱ	1後	2								
	疾病の成り立ちと回復促進	病理学概論	2前	2								
		薬理学概論	2前	2								
		生化学	1後	1								
		臨床疾患学Ⅰ（内科系）	2前	4			1					
		臨床疾患学Ⅱ（一般外科系）	2後	2								
		臨床疾患学Ⅲ（整形・リハビリテーション）	2後	2								
		栄養学と食育	1後	1								
		感染症学	2前	1			1					
	認知心理学	2前		1			1					
保健福祉制度と生活	公衆衛生学と疫学	2前	2			1						
	保健医療福祉行政論	2前	1								別紙③（24）	
	保健福祉行政論	2前		1								
	高齢者保健福祉論	2前		1								
	障害者福祉論	2前		1								
	精神保健福祉論	2前		1								
	子ども福祉論	2前		1			1				別紙①（23）	
	地域福祉論	2後		1								
居住環境支援論	2後		1									

科目区分		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	看護学の基盤	看護学原論	1前	2			1						
		ケアの原形論	1後	1			1						
		看護の疾病論	2後	1			1						
		家族看護論	2前	1									
		生活援助論Ⅰ（基本）※	1前	1			1	1					
		生活援助論Ⅱ（呼吸・移動・睡眠）	1後	1			1	1	2				別紙①（22）
		生活援助論Ⅲ（食事・排泄）	1後	1			1	1	2				
		生活援助論Ⅳ（衣・清潔・性）	1後	1			1	1	2				
		コミュニケーション論※	2前	1									
		看護過程論※	2前	1			1	2					別紙②（22） 別紙②（24）
		フィジカルアセスメント	2前	1			1	1					別紙③（22） 別紙②（24）
			2前						2				
		治療へのケア	2後	1				2	1	4			別紙④（22） 別紙②（24）
		生命医療倫理学	2後	1									「基礎看護学実習」を効果的に実施するため、配当学期を変更。（21）
リスクマネジメント	3前	1			1								
導入基礎実習	1前	2			3	4	6	3	1		別紙②、③（23）。 平成22年4月実習業務により、助手を追加。 担当 家吉 望み（助手） 平成23年4月同人を助手から助教に職位の変更。 （別紙④）。（23）		
基礎看護学実習	2前	2			3	4	5	2	5	1	別紙⑤（22）		
					2	4	5	4	4		別紙①、②（24） 平成24年4月実習業務により、助手を追加。 担当 江藤 千里（助手）。（24）		

科目 区分		配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	領 域 別 看 護 実 践	成人看護学概論Ⅰ（急性期）	3前	2			1		1			集中	3科目とも共同担当。 平成22年3月浅田庚子 (教授)家庭事情により、 就任辞退のため、教員の 変更。(22)	
		成人看護援助論Ⅰ（急性期）	3前	1			1		2	1				
		事例展開Ⅰ（成人・急性期疾患）	3前	1			1		2	1				
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	3					2	1				
		成人看護学概論Ⅱ（慢性・終末期）※	2後	2				1	1	1			集中	別紙①, ② (24) 教員組織の充実を図る ため、教員の追加。(22)
		成人看護援助論Ⅱ（慢性期）	2後	1			1		2	1				
		事例展開Ⅱ（成人・慢性期疾患）	3前	1			1		2	1				
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	3			2		1	1				
		老年看護学概論	2後	1				1					集中	担当 相田京子(助教) 科目 成人看護学実習Ⅱ (慢性期)、老年看護援助 論事例展開Ⅲ(老年・慢 性期疾患)、老年看護学 実習
		老年看護援助論	2後	1				1	1	1				
		事例展開Ⅲ（老年・慢性期疾患）	3前	1				1	1	1				
		老年看護学実習	3後	3				1	2	1	1			
		母性看護学概論	2後	2				1					集中	担当 中村充浩(助教) 科目 老年看護学実習 両教員とも、平成22年1 月教員審査済 判定 可。 平成21年9月野口京子 (講師)一身上の都合に より辞任。(22)
		母性看護援助論	2後	1				1		1	1			
		事例展開Ⅳ（母性）	3前	1				1		1	1			
		母性看護学実習	3後	2				1		1	1			
		小児看護学概論	2後	2				1					集中	別紙④ (23)
		小児看護援助論	2後	1				1		1	1			
		事例展開Ⅴ（小児）	3前	1				2		1	1			
		事例展開Ⅵ（障害児・者）	3前	1						1	1			
小児看護学実習	3後	2				1		1	1		集中	平成24年3月 玉橋 貴子(助教) 職務の都合により就任辞退。(24) 平成24年4月 実習業務により、 助手を追加。 担当 江藤 千里(助手)。(24)		
精神看護学概論	3前	2				1								
精神看護援助論	3前	1				1	1							
事例展開Ⅶ（精神疾患）	3前	1				1	1							
精神看護学実習	3後	2				1	1				集中	別紙② (23)		

科目区分		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	公衆衛生看護学概論 地域看護学概論	2後	1				1					<p>集中 別紙③ (23) 保健指導論、在宅ケア実習及び地域看護学実習は、保健師国家試験受験資格を得るための地域保健実習の変更によるカリキュラムの変更。(23)</p> <p>平成21年9月野口京子(講師)一身上の都合により、辞任のため、教員の変更。 集中 地域ケア連携とシステムは後任未定。(22)</p> <p>集中 別紙③ (24)</p>
	公衆衛生看護学各論	3前		2			1	2				
	在宅看護論	2後	1				1					
	保健指導論	3前		1			1	1	1			
	事例展開Ⅷ(在宅・慢性期疾患) 地域	3前	1				1	2				
	公衆衛生看護学理論 地域看護管理論	4前	1					1				
	地域ケア連携とシステム	4前	1					1				
	ケアマネジメントの理念と実際	4前	1				1	1				
	地域施設運営論	4後		1								
	地域在宅ケア実習	4後	2				1	1				
	4前	4					2	2	1			
	公衆衛生看護学実習 地域看護学実習	4後		5 4			1	1	2			
看護の発展	ケア情報学	2後	1			1		1				
	国際看護論	4後	1			1						
	看護管理論	3前	2			1						
	東洋医学概論	2前	1									
	看護理論特講	4後	1			1						
	原著講読	4後		1		1						

科目区分	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	4前	4			4	5	4 6 5 6	5 7 6 4	1	平成21年9月野口京子(講師)一身上の都合により辞任。担当の見直しにより教員の追加。(22) 担当 相田京子(助教)、中村充浩(助教)科目(両教員とも)統合実習 両教員とも、平成22年1月教員審査済 判定可。(22) 別紙①, ② (24)
	4通	2			4	7 -6	3 5 4 5		2	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記載してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	保健師国家試験受験資格を得るための地域保健実習の変更によるカリキュラムの変更(配当年次3.4年次)。(23) 別紙③ (24)
77	27	0	104	76	30 29 1 2	0	106 105 1 1	
				[△1]	[2]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあたり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{104} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

別紙

①	<p>授業の充実のため、教員の追加。(22)</p> <p>担当 相田京子(助教)、中村充浩(助教)</p> <p>科目 (両教員とも)</p> <p>生活援助論Ⅱ(呼吸・移動・睡眠),生活援助論Ⅲ(食事・排泄),生活援助論Ⅳ(衣・清潔・性)</p> <p>両教員とも、平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)</p>
②	<p>平成21年9月野口京子(講師)一身上の都合により、辞任のため、教員の変更。(22)</p> <p>担当 金井一薫(教授)</p> <p>科目 看護過程論※ 平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)</p>
③	<p>平成22年3月浅田庚子(教授)家庭事情により、就任辞退のため、教員の変更。(22)</p> <p>担当 高橋正子(教授)</p> <p>科目 フィジカルアセスメント、導入基礎実習、基礎看護学実習、成人看護学概論Ⅱ(慢性・終末期)※、成人看護援助論Ⅱ(慢性期)、事例展開Ⅱ(成人・慢性期疾患)、成人看護学実習Ⅱ(慢性期)、統合実習、卒業研究</p> <p>平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)</p>
④	<p>授業の充実のため、教員の追加。(22)</p> <p>担当 中村 充浩(助教)</p> <p>科目 治療へのケア</p> <p>平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)</p>
⑤	<p>平成21年9月野口京子(講師)一身上の都合により、辞任のため、教員の変更。(22)</p> <p>担当 金井一薫(教授)、相田京子(助教)、中村充浩(助教)</p> <p>科目 (3教員とも)基礎看護学実習</p> <p>3教員とも、平成22年1月教員審査済 判定 可。(22)</p>

別紙

①	<p>教員組織の充実を図ることにより、教員を追加。(23)</p> <p>担当 千葉 喜久也(准教授) 知の技法入門、人とのつながりの技法、社会保障の基礎、子ども福祉論、卒業研究</p> <p>平成22年7月教員審査済 判定 可。(23)</p>
②	<p>平成23年3月瀬野佳代(准教授)就任辞退により、教員を変更。(23)</p> <p>担当 大沼 幸子(准教授) 知の技法入門、導入基礎実習、基礎看護学実習、精神看護学概論、精神看護援助論、事例展開Ⅶ(精神疾患)、精神看護学実習、統合実習、卒業研究</p> <p>平成22年9月教員審査済 判定 可。(23)</p>
③	<p>平成21年9月野口京子(講師)辞任により、教員を変更。(23)</p> <p>担当 吉川 悦子(平成23年2月26日 婚姻により高橋から吉川に改姓)(講師) 人とのつながりの技法、導入基礎実習、保健指導論、事例展開Ⅷ(在宅、慢性期疾患)、地域ケア連携とシステム、地域在宅ケア実習、統合実習、卒業研究</p> <p>平成23年1月教員審査済 判定 可。(23)</p>
④	<p>平成23年3月柳瀬真澄(助教)就任辞退により、教員を変更。(23)</p> <p>担当 家吉 望み(助教) 人とのつながりの技法、導入基礎実習、基礎看護学実習、母性看護援助論、事例展開Ⅳ(母性)、母性看護学実習、統合実習</p> <p>平成23年1月教員審査済 判定 可。(23)</p>

別紙

①	<p>平成24年3月伊豆上 智子(講師)辞任により授業科目を兼任教員が担当。(24)</p> <p>導入基礎実習、基礎看護学実習、成人看護援助論Ⅰ(急性期)、事例展開Ⅰ(成人・急性期疾患)</p> <p>成人看護学実習Ⅰ(急性期)、成人看護援助論Ⅱ(慢性期)、事例展開Ⅱ(成人・急性期疾患)</p> <p>統合実習、卒業研究。(24)</p>
②	<p>平成24年3月林 さとみ(講師)辞任により授業科目を兼任教員が担当。(24)</p> <p>看護過程論、フィジカルアセスメント、治療へのケア、成人看護学概論Ⅰ(急性期)</p> <p>成人看護援助論Ⅰ(急性期)、事例展開Ⅰ(成人・急性期疾患)、成人看護学実習Ⅰ(急性期)</p> <p>統合実習、卒業研究。(24)</p>
③	<p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正によるカリキュラムの変更。(24)</p>